

第1回新潟大学 環境・防災GISセンター講演会

主催：新潟大学 環境・防災GISセンター

共催：新潟大学理学部自然環境科学科・新潟大学国際学術サポートオフィス・にいがたGIS協議会・GIS学会北陸

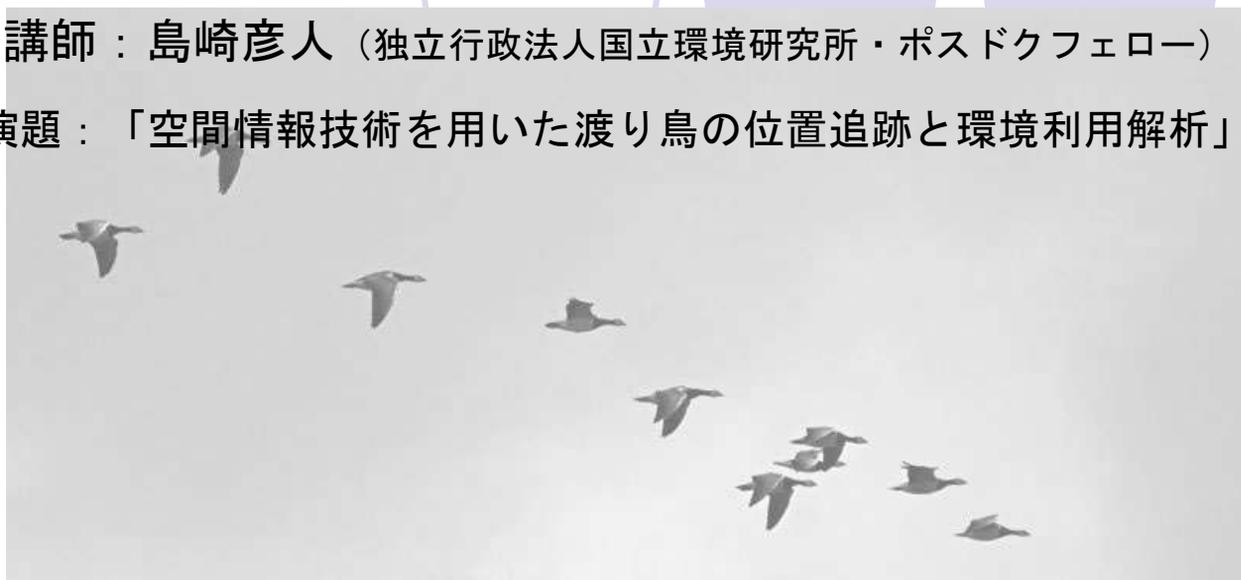
支部

日時：2007年5月24日午後4：30－6：00

会場：新潟大学自然科学研究科
管理棟2階大会議室

講師：島崎彦人（独立行政法人国立環境研究所・ポスドクフェロー）

演題：「空間情報技術を用いた渡り鳥の位置追跡と環境利用解析」



画像・Wikipediaより

近年、長距離移動性の渡り鳥が世界各地で急速に減少している。その主な原因は、繁殖地、中継地、越冬地における環境破壊であると考えられている。渡り鳥とその生息環境の保全研究を進展させるためには、各地における地道な調査活動が必要とされている。

一方、渡り鳥が非常に広範囲を移動することから、鳥の位置と周辺環境のデータを効率的に収集する手法の必要性も高まっている。

講演では、人工衛星を利用した渡り鳥の位置追跡手法と衛星リモートセンシングによる生息環境データの収集手法について、その原理を概観するとともに、得られたデータを地理情報システム(GIS)を用いて解析した事例を具体的に紹介しながら、その有効性と問題点について議論する。

問い合わせ先
新潟大学 環境・防災GIS
センター 山岸宏光
(hiroy@env.sc.niigata-
u.ac.jp)